

笠岡市教育委員会 2月定例会 会議録

1 開会年月日	令和8年2月20日(金) 午後2時59分
2 場 所	笠岡市教育委員会会議室
3 出席委員等の氏名	教育長 大重 義法 委員 藤谷 幸弘 東山 琴子 西崎 倫子
4 欠席委員の氏名	杉本 和歳
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 塚本 真一 教育総務課長 川口 葉子 学校教育課長 後藤 嘉孝 生涯学習課長 古宮 奈美子 スポーツ推進課長 重見 圭一 給食センター所長 山本 英司 教育総務課課長補佐 藤代 幸弘
6 付議案件及び議決状況	協議報告事項 別議案紙のとおり
7 会議の状況	別紙のとおり
8 閉会年月日	令和8年2月20日(金) 午後4時13分

議事録署名委員 教育委員 東山 琴子

教育委員 西崎 倫子

会議録を調製した職員 川口 葉子

会 議 の 状 況

1 開 会 （大重教育長）

2 前回議事録（定例会）の報告 （藤代課長補佐）

前回令和8年2月臨時会の会議録を報告します。2月臨時会は、令和8年2月13日（金）午後2時29分から、教育委員会会議室で開催されました。

出席者は藤谷委員，東山委員，西崎委員，杉本委員のご出席をいただきました。審議案件は、第4期笠岡市教育振興基本計画（案），笠岡市小中一貫教育推進計画改訂版（案）についてご協議いただきました。閉会は同日の午後3時4分でした。

3 教育長の報告（挨拶）

2月ということでそろそろ年度末に向けてのまとめに入っていて、次年度に向けて準備を進めていっているところです。

この1年間を振り返っていった時に、色々見えてくることがあります。

昨日校園長会があつて、こういうものを校長先生方・園長先生方にお示しました。小学校が90%，中学校が86%とありますが、これは何の数字かお分かりになりますか。これは教職員の勤務実態調査の結果です。時間外勤務の状況などについての調査で、今年度は11月に県全体でやっています。この数字がどういう調査項目だったかという、「あなたは現在仕事に働きがいを感じていますか」という項目で、肯定的割合がこの数字なのです。これを全県の状況と比較したら、全県よりも小学校も中学校も高いのです。しかも、年代別で見ると、小学校の40代は全県と比較するとプラス5ポイント、50代についてはなんと97%で、プラス7ポイント。つまり働きがいを感じていないという教員は、50代については3%ということです。中学校も40代のところが結構高い数字で、96%となっていて全県と比較するとプラス11ポイントで、かなり高い数字になっています。以前、将来の夢や目標を持っている小学校の児童の割合を県平均と比べたグラフをお示しました。今までは県平均ぐらいだったのですが、今年度の4月の全国学力・学習状況調査のこの項目については、県平均よりプラス11ポイントで県内でも上位です。令和6年度は、マイナス2.3ポイントなので、上がり幅でいうとプラス13ポイントも上がっています。先ほどの、勤務実態調査でやりがいを感じているという教員ですが、40代・50代と言ったら学校を中心になって動かしていくという年代です。そういう人達を校長や教頭が中心になってその気にさせている。核になる人達にしっかり火をつけていっているので、結果として教職員も子ども達に対して火をつけていくことができ始めている。特にレスポンスの良い小学校については、すぐにこういう形で跳ね返ってきたということだと思います。子育て支援課の方でよく紹介されるアンケート、これは全

県的に県の方が調査しているものですが、出生率の減少は、結婚する割合の減少が影響しており笠岡の割合の低さは自己肯定感が低いからという分析がなされています。だけれども、教育の方については本当に限られた、この1年2年ぐらいの間ですが、取組によって、まずは小学校の部分で良い数字が出始めたのと、教職員についても良い感じになってきているということなので、今後自己肯定感も高まっていくし、それに伴って色々なものも変わっていくだろうと期待しているところです。今日はこの後来年度に向けてということで、当初予算のことであつたりとか教育関係のことを中心にご説明させていただきたいと思っています。そして、教育振興基本計画や小中一貫教育推進計画という辺りについても、皆様方にも見ていただきましたが、いよいよ来年度は動き出すということになってきますので、今日も色々ご説明等させていただきすけれども、忌憚のないご意見をたくさんいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

4 議事録署名人の指名（東山委員，西崎委員）

5 協議・報告

（1）令和8年度一般会計当初予算（教育費関係）について（教育総務課）

川口課長 本日配付した資料の予算関係資料（教育費関係）をご覧ください。

表の3列目、前年度当初予算額の合計額が最下段にあります。前年度の当初が24億1,568万円に対して、令和8年度の当初予算額の合計額が24億7,008万円となっています。前年度当初と比較して5,440万円の増額、率にして約2.3%の伸び率となっています。参考までに笠岡市全体の令和8年度一般会計の当初予算額ですが、249億8,980万円ですから、全体予算の中で教育費の関係が占める割合は約9.9%となっています。予算額については現在のところ内示額で、確定額ではありませんのでお知りおきください。続いて、本日お配りした資料の令和8年度予算の主な事業をご覧ください。こちらは、令和8年度の予算の中で主な事業と予算額となっています。1ヶ所訂正があります。学校教育課関係の上から5段目、「「たい！」のあふれる地域探究学習等推進事業」の「業」が抜けていました。大変失礼しました。こちらに記載してある事業について、各課ごとに主な事業についてを順次説明させていただきます。

まず教育総務課より説明します。教育総務課関係としては、9項目を挙げています。4項目が継続事業、5項目が新規事業となっています。一番上から順に説明します。1が新規事業になります、「学校統廃合に伴うスクールバス運行事業」で、令和9年度に統廃合が予定されている学校の、通学のためのスクールバスを円滑に運行するための事業で、5年間の債務

負担行為を設定しています。続いて2ですが、1と同様に学校統廃合に伴う新規事業で、新たに学用品を購入する必要が生じた陶山小学校の保護者に対し、学用品購入に係る費用を補助するものです。体操服や通学帽を予定しています。新山小と吉田小の学用品については協議がまだのため、この度の予算にはまだ反映されていません。今後の協議で、保護者に財政的な負担が生じた場合に、必要に応じて補正要求したいと考えています。3番目は継続事業です。教職員の事務作業等の負担軽減のための業務アシスタントの配置に係る人件費で、今年度と同規模の配置での予算となっています。4番目は継続事業になります。「生徒指導・進路指導総合推進事業」については、各学校で使用する校務用パソコンの整備費用となります。令和8年度は70台を購入する予定としています。5番目は継続事業になります。「学校照明LED化事業」ですが、小学校5校、中学校2校の計7校において、現在使用している蛍光灯・白熱灯などの照明器具についてLED化を図ろうとするもので、令和8年10月から4年間のリースとすることとしています。6番目が継続事業で、「小学校遊具更新事業」となります。鉄棒など学校遊具のうち、老朽化した遊具を新しいものに更新するもので、小学校5校で予定しています。こちらの事業については、企業版ふるさと納税を活用して実施するものとしています。7・8・9と新規事業になります。7番目が「新小学校準備事業」で、北部地域の三つの小学校が統廃合し新しい学校となることから、校旗の購入等、令和9年度の統合に向け準備を進めることとしていまして、そのための予算となっています。8番目が「屋内運動場空調整備事業」についてです。小学校・中学校それぞれ1校ずつ、屋内運動場に空調設備を整備するとともに、遮熱対策を行うものです。児童生徒が健康に過ごせる環境を整備することとしています。9番目が「学校施設長寿命化事業」で、実施校は城見小を予定しています。

後藤課長

学校教育課の事業については、全部で14事業あります。新規事業は二つです。まず1番目ですが、「統合前における複式学級解消加配事業」として、令和9年度に統合する城見小学校と陶山小学校、新山小学校と吉田小学校の統合に向けて、複式学級で行っている授業を解消するために非常勤講師を配置します。2番目の「小学校チーム担任制実現に向けての加配事業」ですが、既に今年度岡山県の加配により実施しているチーム担任制ですけれども、その担任制について、市で独自に常勤講師1名の加配をつけて、体制を強化したいと思っています。残りの事業について、大きな増減・減額した事業はありませんが、5番目の「「たい！」のあふれる地域探究学習等推進事業」については、昨年度の「広がる未来応援事業」から

名称を変更しています。

古宮課長

引き続き、生涯学習課からご説明させていただきます。生涯学習課については、令和8年度の主な事業としては、継続事業が7事業、新規事業が4事業ということで、計11事業を挙げています。継続事業については、事業規模及び内容について、昨年度と同程度のもので実施することとしています。新規事業4事業についてご説明させていただきます。3ページ目の一番下の項目、3番目の「天野育英会奨学事業」についてです。こちらは担当は生涯学習係で、経済的理由で進学が困難であり、人物・学業ともに優秀であると認められる学生を対象に、入学支援金として奨学金を給与するものです。給与内容は、高校進学の場合は20万円を、大学進学の場合は30万円を、1人1回限りとして給与することとしています。6番目の「地区公民館照明LED化事業」、こちらは地区公民館の照明設備をLED化することによって、社会教育環境の向上と電気料金の抑制を図るものです。次のページに行きまして、一番上の7ですが、「電子図書館導入事業」です。こちらは来館困難者や児童生徒を含め、誰もがいつでもどこでも利用できる図書館サービスを提供する目的で導入するものです。ウェブ上に電子図書館を開設し、来館不要で利用登録から貸し出しまでが可能となります。将来的には学校との連携も含めて、児童生徒の読書環境の充実も図っていきたいと考えています。11番目の「竹喬美術館空気調和機更新事業」についてです。こちらは竹喬美術館に設置している空調設備のうち、熱源機器というものから送られた冷温水を基に、館内に送る空気のと調和機についてですが、老朽化が進んでおり更新をするものです。

重見課長

スポーツ推進課から2点ご説明させていただきます。まず1点目が「部活動の地域展開推進事業」ですが、令和8年度からは国の方も改革実行期間ということで、力を入れて展開しているという中で、新たに国の制度で補助事業ができます。笠岡市としてもそれに乗って更に進めていこうというもので、事業費なのですが612万5千円のうち、約500万ぐらいがコーディネーターの人件費になります。コーディネーターを置いて、色々な地域のクラブや学校で行う、これは部活動とは違う地域クラブになるのですが、その円滑な運営を行っていこうというものです。これに他に、活動を指導してくださる方の謝礼を約100万円ほど含んでいます。

続いて「笠岡総合スポーツ公園長寿寿命化工事」ですが、総合体育館のエアコンの予防修繕になります。体育館はできて20数年経過しており、エアコンが2機あるのですが、1機が令和2年に壊れて、修繕に5,000万ほどかかりました。そういったことを未然に防ぐために、予防修繕として今回350万ほどで長寿命化の工事を行うというものです。

山本所長 学校給食センターからは、保護者の給食費負担軽減に関するものが2項目あります。まず小学校の給食費については、国が示した学校給食費の抜本的な負担軽減を活用して、小学校の学校給食費保護者負担を無償化とさせていただきます。国の方から1億800万のうち約9,300万ぐらいが笠岡市に入ってくることとなりますので、笠岡市で1,500万程度上積みして無償化を実施するものです。続いて中学校の給食費無償化補助金ですが、中学校については今回の抜本的な負担軽減の対象ではありませんが、物価上昇に伴い給食費が高騰していることもあります。令和6年度が340円の設定から、令和7年度は360円、令和8年度は400円と60円上昇となりますので、この上昇分60円について、国の重点支援交付金を活用して負担軽減を図ろうとするものです。

大重教育長 それでは、委員の皆様からご質問・ご意見があれば、お願いします。

教育委員 教育総務課8番の「屋内運動場空調整備事業」ですが、中学校に関しては人数が多いところからということかと思えます。小学校に関して新山小が対象となった理由を教えてください。

川口課長 新山小は体育館の状態が比較的良いということと、地域的なものもあります。東中が南部ですので、北部にということもあります。あとは統廃合の事も理由の一つにはなります。

教育委員 学校教育課1番について、複式学級解消の加算事業は金額が思ったより安いと感じたのですが、こちらはお一人分ということですか。

後藤課長 これは非常勤講師の時間数での報酬ということで金額を出しています。ただ、これは県の方からも非常勤の時数が加配としてありますので、その足らずの部分を、どうしても今回適正化をする上で出てくるので、そこを市費の方で補うためにここを市費で表記したということになります。

大重教育長 学校教育課長からありましたが、もう少し私の方から補足をしますと、統合前の年度は、先ほど課長の方からありましたように複式を解消しないといけない。新山小も陶山小も完全複式ですので、解消するためには教員がプラスで必要だと。なので、県教委の方から統合前加配というものが、これはいわゆる教員定数として、それぞれ新山小と陶山小にまず配置されます。だから常勤職員ですね。更にはそれだけでは足りないので、県教委の方からプラスで非常勤講師も配置されると。それでも少し足りないところが出てくるので、その部分を市の方で非常勤講師を配置して補うということですから、これぐらいの金額で何とか頑張れるということになっています。

教育委員 複式だった児童たちが新しい環境にこの学年に入った時に、辛い思いをせずに済むようにしっかりとこういった加配をいただけるということが、

児童の皆様にとっても保護者の方にとっても安心に繋がることだと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育委員 2・3教へていただきたいのですが、まず1枚目の教育総務課の5番目なのですが、小中学校のLED化ということで実施校が書いてありますけれども、学校は校舎とか体育館にたくさん照明器具があると思うのです。これはここに書いてある全ての学校の、全部の照明について変える計画なのですか。それとも一部なのですか。

川口課長 この学校の全部の照明をLEDに変えます。

教育委員 であれば、この中に北川小学校があるのですが、北川小学校は何年か先に統合という方向に行くと思うのですが、確かに蛍光灯はあと何年かで生産中止になると思うのです。ただ、今すぐ全部が使えなくなる訳ではないので、北川小学校を入れる必要があるのかと思つたのですが、どうなのでしょう。

藤代課長補佐 今後統廃合した後でそこは残る訳で、そうすると地域でも使つたりとかいうのも含めて、今のうちにそちらを早めにやっておこうかなということでお示ししています。

教育委員 校舎をこの後どう使つていくかというところがまだ決まていない段階なので、仮に使うとしての計画ですよということですかね。それから教育総務課の9、学校施設の長寿命化で、これは具体的には、この前視察に行った時に壁が落ちたりしているところがあった、そこら辺の補修のことでしょうか。校舎の一部で壁か天井が落ちかけて、ネットが張つてあつたりしたあの辺の補修のことでしょうか。

川口課長 体育館の方を予定しています。

教育委員 最後にもう一つ、スポーツ推進課の一番目の部活動地域展開推進事業で、500万ぐらいがコーディネーターの人件費ですということだったので、コーディネーターの方の人数は何人なのですか。

重見課長 一応1人を予定しています。

大重教育長 その他ありませんか。

教育委員 (異議なし)

(2) 令和7年度卒業式祝辞(案)について(学校教育課)

後藤課長 令和7年度卒業式祝辞(案)について、幼稚園・小学校・中学校と案の方を作成し、机の上に置かせていただいています。少しお時間をいただいて全部読んでみますので、何かその後お気づきの点がありましたら、またご意見等をいただけたらと思ひます。まず幼稚園の方です。これは北木西幼稚園なので、卒園するお子さんが1人ということでお名前が入つていま

す。「およろこびの言葉。ゆずきさん、ご卒業おめでとうございます。名前を呼ばれて、元気よく返事をして、上手に卒業証書を受け取ることができました。その様子を見て、とても感心し、嬉しく思いました。随分大きく立派になりましたね。素晴らしいです。ゆずきさんはたった1人の園児として、この北木西幼稚園で3年間を過ごしましたが、園長先生を初め、諸先生方、小学生、そして地域の方々と触れ合ったり、遊んだりして、多くの思い出ができたと思います。そして、周りの人を大事にする心や、最後まで諦めない強い気持ちを大切にできたことは、ゆずきさんの宝物です。そこで、4月から小学生になるゆずきさんへ、願いが一つあります。それは、これからも挨拶を続けて欲しいということです。おうちの人や友達、先生、地域の方に「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」など、元気に挨拶をしてください。ゆずきさんの元気な声は、周りの人も元気にします。素敵な笑顔でお友達をたくさん作り、勉強や運動を一生懸命頑張ってください。分からないことがあっても大丈夫です。周りにはいつも、ゆずきさんを見守ってくれる先生や家族、地域の方がおられるので、安心してください。保護者の皆様、ゆずきさんのご卒業、誠におめでとうございます。今日までの成長を支えてこられた皆様のご努力に、心から敬意を表します。教育委員会といたしましても、柚木さんがこれからも健やかに学び、成長できるよう、全力でサポートしてまいります。結びに、本日北木西幼稚園を巣立っていくゆずきさんが、皆様の大きな愛情に包まれながら、夢と希望を持ち、心豊かに成長されることを祈念して、お慶びの言葉といたします。」

小学校は「お祝いの言葉」とあります。「本日の卒業証書授与式にあたり、笠岡市教育委員会から一言お祝いの言葉を申し上げます。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんがこうして成長し、卒業の日を迎えることができたのは、皆さんの頑張りに加え、皆さんを温かく見守り支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様、そして、熱心にご指導くださった先生方のおかげでもあることを忘れないでください。この6年間、皆さんはたくさんのお話を学びました。国語では言葉の力を知り、算数では考える楽しさを学びました。理科では身の回りの不思議に目を受け、社会では歴史や人物、地域のことを学びました。音楽や体育、外国語では自分の思いを表現したり、仲間と力を合わせたりすることの大切さを学び、図画工作や家庭科では創作の楽しさを学びました。どの学びも、皆さんの心の中にしっかりと根を張っています。小学校での学びは、知識を覚えることだけではなかったはずです。地域探究学習や日々の話し合いの中で、皆さんは知りたい・解決したい・挑戦したいという気持ちを大切に

しながら、自分で考え判断し、友達と協力して答えを見つけようとしてきました。その経験こそが、これからの時代を生きていく大切な力になります。これからも自ら学ぶ姿勢を大切に、大きく成長してください。

さて、これから進む中学校生活でも、新しい学びや挑戦が待っています。時に不安になったり、思うようにいかないこともあったりするでしょう。そんな時は思い出してください。皆さんは自分で考え判断し、仲間と力を合わせて前に進む力を身につけています。皆さん1人1人が、笠岡市の未来を照らす大切な光です。自分を信じ、やってみたいという気持ちを大切に、新しい一歩を踏み出してください。終わりにになりましたが、〇〇小学校の教育に多大なるご支援やご協力を賜っております。関係者の皆様に対しまして、心より敬意と感謝の意を表しますとともに、卒業生の皆さんが健康に気をつけ、充実した中学校生活を送られるようお祈りし、お祝いの言葉といたします。」

中学校は「祝辞」です。「本日の卒業証書授与式にあたり、笠岡市教育委員会から心よりお祝いの言葉を申し上げます。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまで温かく見守り、支えてこられた保護者の皆様、そして、日々熱心にご指導くださった先生方に対し、深く感謝を申し上げます。皆さんはこの3年間、中学校において学びと成長の歩みを進めてこられました。多くのことに挑戦する中で、時には困難も経験されたことでしょうか。しかし、それらを乗り越えながら、1人1人が力を伸ばし、たくさんの思い出や思いを共有し、義務教育9年間の学びの節目を迎えられたことは、本当に素晴らしいことです。これからの社会は、AIの進歩、グローバル化の進展等により、めまぐるしく変化し予測困難な時代となっていく中で、皆さんが力強く人生を歩んでいくためには、自立と共生の力を発揮していくことが重要となります。まず自立についてですが、これからの社会は自分で考え、自分で判断する姿勢と力が必要となります。中学校生活で身につけた、知りたい・解決したい・挑戦したいという探究心を持ち、主体的に考え行動し続けることが、自分を成長させる糧となり、自立に繋がっていきます。もう一つの共生については、多様な考えや個性を尊重し、互いに助け合いながら、様々な人とともに課題解決していく姿勢であり、これからの社会で必要な力です。中学校で培った、仲間と学び合ったり支え合ったりした経験が基盤となり、困難に直面してもお互いを思いやり、粘り強く乗り越えていく力として発揮されると思います。皆さんがこれまで笠岡の豊かな自然や歴史、文化等を学びのフィールドとして、地域の特色作りや課題解決に参画していく中で、地域の方々から教わった多くのことや、ふるさとへの思いを大切にし、これからも自立

と共生を意識し、様々なことを探究していく姿勢を通じて、夢や目標を実現させてください。夢への挑戦は平坦ではありませんが、皆さんには変化に柔軟に対応し、困難を乗り越える無限の可能性があります。自信を持って未来へ進んでください。終わりにになりましたが、〇〇中学校の教育について、格別のご支援やご協力を賜っております関係者の皆様に対しまして、心より敬意と感謝の意を表しますとともに、卒業生の皆さんが健康に留意され、それぞれの道をご精進されることを祈念し、祝辞といたします。」ということで、幼・小・中とあります。何かこのことについてご意見をいただけたらと思います。

大重教育長
教育委員

それでは、委員の皆様からご質問・ご意見があれば、お願いします。

少し教えていただきたいのですが、北木西幼稚園の分です。幼稚園なのですが、「卒業」になっていますけれども、「卒園」でなくて良いのですか。

大重教育長
教育委員

「卒業」で良いです。

証書も「卒業証書」で良いのですね。分かりました。ありがとうございます。

大重教育長

幼稚園の場合は「卒業」という言い方をするのです。保育所とか私立の保育園なんかは「卒園」という言い方をしています。そういう処理で良かったですね。そこは事務局で再度確認していただけたらと思います。

塚本部長

私も最初にこれを見た時に、「卒園」かなと思って調べたのですよ。そうしたら「卒業」で良かったと。

教育委員

文章はこれで良いのですが、まず幼稚園のところで、上から3行目の「その様子を見て、とても感心し、嬉しく思いました」というので、幼稚園の子どもさんに言うので「感心し」は要るのかなと思って、そのまま「その様子を見て、とても嬉しく思いました。随分大きくなりましたね」となると変ですかね。そこが気になったところでした。もう一つが中学校の文章で、「皆さんがこれまで笠岡の豊かな自然や歴史…」の文章の、「解決に参画していく中で」と伝えても大丈夫なのですか。

後藤課長

よくこの「参画」という言葉を使って、学校にも説明をしているのですが、「参加」というとただ単に入っていくだけではあるのですが、「参画」という風になると主体的に自分から関わっていくという意味が込められていますので、あえてこの「参画」という言葉を入れることによって、今、笠岡市教育委員会がそういうことを取り組んでいるということを、意味を伝えたいということで入れているということです。

教育委員

幼稚園のところ。

大重教育長

「感心し」という。

後藤課長 これは確かに仰るように、お子さんが「感心し」と言われても「どういうことかな」と思う部分もあるので、こちらの方は確かに仰るとおり、ここを削るのか別の言葉にするのかというのは少し考えさせていただきたいと思います。

教育委員 読んでいる分には問題ないのですが、これを記録としてもし残されるのであれば、幼稚園の下の方の挨拶の部分なのですけれども、「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」の後も句読点があっても良いのかなということを思ったり。なくても読めば一緒なので大丈夫です。後は小学校の4段落目、「さて、これから進む中学校生活…」という段落の中に、「時に不安になったり、思うようにいかないこともあったりするでしょう」という、ここが「あったりする」というので自然にすっと入らなかったのですが、「時に不安になったり、思うようにいかないこともあるでしょう」でも良いのかなと思ったのですが。

後藤課長 これは「たり」だけなのでどうするかですが、「時に不安になったり」とあるので。

大重教育長 たり・たりになって。「不安になったり、思うようにいかないこともあったり」。

後藤課長 前半に「たり」をつけたら、絶対後半に「たり」をつけないといけないので。

大重教育長 そうです。たり・たりというのが。「ああしたりこうしたり」と。

教育委員 でないといけないのですね。

大重教育長 前半に「たり」があるのであったら、ここにも「たり」がないといけないので、この「たり」を取りたいのであったら、前段の「たり」を別の表現に変えると。

教育委員 勉強不足でした、失礼しました。小学校では「保護者,地域,先生」にお礼の言葉がありますが、中学校の方では最初に「地域」が入らず最後の方にしかありません。小学校では特に地域に関わっていただくことが多いからということですか。

後藤課長 中学校の方は前半に「地域」がないのですね。

教育委員 「学びのフィールド」というところ辺に「地域」というワードは出てくるから。

後藤課長 ここにあるけれども、前半にあっても別に問題はないですね。では前半に。保護者だけではなく地域の方々にもお世話になっていますので、小学校と合わせて地域の皆様というところを追記します。

大重教育長 他にはありますか。

教育委員 (なし)

大重教育長 教育委員会の思いや考え等が大きく出ています。とかくこういった卒業式の時は、例えば楽しかった修学旅行とか運動会とか、行事を中心に振り返るというパターンがどちらかという和多いかと思いますが、あえて今回は特に小学校の部分で、教科の学習という部分をこれだけ入れ込んだというのはかなり思い切った挑戦かと思います。これは毎年変えていくというか、アップデートしていかないといけないので。

教育委員 何年か前に校長先生のご挨拶と綺麗にかぶるぐらい同じ時があって、もう1回私がこれを読んで良いのだろうかぐらいに思ったので、教育委員会としての思いがしっかり入った挨拶で良いと思います。

大重教育長 委員の皆様方は当日教育委員会という立場で卒業式に臨んでいただいて、祝辞を述べていただくようになりますので、その辺も含めてよろしくお祈りします。これは練習をこの後するのですかね。

後藤課長 定例会の後でさせていただこうかなど。練習というか確認をさせていただきます。

(3) 学校規模適正化進捗状況について (学校教育課)

後藤課長 学校規模適正化計画進捗状況について、まず陶山小学校関係ですが、第2回の全体会の方が昨日2月19日(木)に陶山小学校で、19時から行われました。各部会からの検討状況の報告が行われましたが、どの部会も丁寧に検討されていて、令和9年度の統合に向けて着実に準備ができています。この報告についてはいくらか質問もありましたが、全ての部会の検討結果については全体会の方で承認されています。下に書かれているのは、各部会で開催された状況です。またご覧になっていただけたらと思います。それから吉田小学校関係については、第2回目の全体会が3月6日(金)に吉田公民館で行われる予定になっています。陶山小学校関係と同じく、各部会からの検討状況報告とその検討結果の承認が行われる予定になっています。下は各部会で開催された状況です。

大重教育長 それでは、委員の皆様からご質問・ご意見がありましたら、お願いします。

教育委員 全体会での参加率。全体会と言ったら、全保護者とかいう訳ではないのですか。

後藤課長 ではなく、各部会の委員になっている方々の会ということになります。

教育委員 そういったものは、役に就かれていない保護者の方達がを知る機会みたいなものはあるのですか。ある程度決まってからでしたか。

後藤課長 ここでの結果についてはこちらの事務局の方でまとめて、保護者についてはスグールで、地域に関しては回覧という形で周知いただくということ

で、皆様に分かるように結果について用意するようにしています。

大重教育長

統合準備委員会だよりを作っています。委員の皆様方については、教育委員会の方から委嘱をしていますので。部会を五つ設けていますが、放課後児童クラブについての部会もありますので、これはこども・健康福祉部の方も一緒になって動いているという形になっています。特に通学安全部会については、子ども達の安全安心、更にはスクールバスの運行等々について、これはかなり皆様方の関心も高く、教育委員会としても子どもの安全安心の部分ですから、押さえるべきところは押さえていかないとけないということで、部会の開催回数も他の部会に比べると多いということです。昨日通学安全部会の方についても、スクールバスについてはどういう経路で行きますよ、停留所がどこになりますよ、何時に出発して何時頃学校に着きますよ。帰る時には、朝は1便だけれども、帰りは低学年向けと中高学年向けに2便走らせますよ、陶山地区については全員バスに乗るのではなくて、有田地区、城見小学校の方に一番近い地区については、2kmより短い子達については徒歩でとなります。県道3号線を道路沿いに城見小まで歩いていくこととなりますから、歩道の広さが十分確保できているかどうかということも、現地の確認に何回も行って対応しています。特に市道と県道が交わる場所、ファミリーマートがあった交差点のところが若干歩道が狭くなっているのですが、その安全対策について教育委員会の方から、学校も一緒になって、県と警察に要望書を出しました。安全面での対応も担当の教育総務課が現地に何度も訪問してそういう対応をしてくれています。昨日は色々意見が出るのかなと思っていたのですが、そういう丁寧なきめ細かい対応をしていますので、もうこれでいいということでご承認をいただけたということです。この部分について教育総務課の方から何かありますか。

川口課長

有田地区の方は最初はバスでという意見もあったのですが、協議をして、安全対策を条件にということで徒歩通学にご理解をいただきましたので、なんとか前に進められそうです。

教育委員

そこは車がよく走りますよね。

川口課長

歩道のところが一部狭いのが気にはなっているんですが、できることをさせていただこうと思っています。

教育委員

子ども達がきちんと歩いているのに車に突っ込んでこられるというニュースを見ることがあります。ああいったニュースを見ると本当に胸が痛くなります。これでもかというくらいの安全策をしていただきたいと思います。

以前お聞きした、ガードレールは難しいという説明をお願いします。

- 藤代課長補佐　　ガードパイプはつけたいのですが、道が狭くて歩道までが近いので難しいというのをお聞きして、縁石をつけるのもなかなか難しい、車の通行の支障になるということで、なのでオレンジ色のラバーコーンで対応させていただきます予定です。。
- 教育委員　　慣れるまでは地域の方とかに立っていただいて、登下校で使っているんだよというのを、地域の方とかあその道を使う方に知っていただけたらなと思うぐらい。
- 藤代課長補佐　　通学の時は地域の見守り隊の方にもお願いしていて、声をかけていただいている、毎朝ついて行っていただいて帰りにもついて行っていただくという話が出ていますので。
- 教育委員　　恥ずかしい話なのですが、新山小学校と吉田小学校の統合は吉田小学校が新山小学校に統合ですよ。ここに書いてある吉田小学校関係の総務部会の中で、「新山小学校の閉校について」というのがあって。
- 後藤課長　　これは同等というか、吉田小学校が新山小学校に統合して新山小学校になるということではなく、新しい学校になるということになりますので、施設は新山小学校なのですけれども、まだ校名等は決まっていますが、今後新しい校名になる予定です。ということなので一旦新山小学校は閉校、吉田小学校も閉校で、新たな学校ということで統合という形になります。
- 大重教育長　　北部3小学校が一緒になって、真ん中の新山小学校で新しい学校として形でスタートする。新しい学校名でスタートするためには、一旦学校を閉じる必要があります。なので閉校という手続きを取ると。このことについて新山の皆様方がどう捉えられるかということも、打ち出しの時には重要だった訳です。そういう話を出していった時に、新山の皆様方は自分のところへ来てくれるということもあるので、ご了承もいただいて、学校を閉じるということについてもご理解をいただきました。だけれども学校そのものがなくなる訳ではないので、大々的に地域の方々も一緒になっての閉校式をやるということではなく、教育委員会主催で一つの区切りということでの閉校式をするということになります。
- 大重教育長　　地域の皆様方も、自分達の地域から学校がなくなるという捉え方をされている面もありますが、新しい学校で一緒になるというのは、学区が広がるという考え方でこれがすごく大事になっていきます。我々はそこをかなり意識しています。
- 教育委員　　文化とかの担い手も、メンバーが増えるというプラスのような打ち出し方をしていただけたら。
- 大重教育長　　そこは非常に重要なポイントだと思っています。私も意見交換会・説明

会にはかなり行っていますが、押さえるべきポイントというのは色々ありますけれども、その重要な押さえるべきポイントの中の重要な一つです。他にはありますか。

教育委員 (なし)

(4) 第21回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式の開催について (生涯学習課)

古宮課長 資料については協4-1をご覧ください。昨年10月から実施した木山捷平短編小説賞及び各部門の審査が無事終了して、3月1日にギャラクシーホールで表彰式を開催します。今年度の木山捷平短編小説賞は、286作品の中から犬浦香魚子さんの「あとから来た猫」に決定しました。犬浦様には、表彰式にご出席をいただきます。併せて、選考委員の皆様方にもご出席を賜ります。5部門の応募者総数は2,665名で、応募作品総数は3,763作品となりました。うち小中学生が2,198名、高校生についても400名と、昨年に引き続き多くの子ども達の積極的な参加が目立っており、今後も若い世代に創作活動が広まっていくことを期待したいと思います。教育委員の皆様方におかれても、年度末のお忙しい時期ではありますが、ご出席を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

大重教育長 それでは、委員の皆様からご質問・ご意見があれば、お願いします。
教育委員 (なし)

(5) 第37回笠岡市生涯学習フェスティバルの開催結果について (生涯学習課)

古宮課長 本日机上に配付させていただいている、「第37回笠岡市生涯学習フェスティバル開催結果について」という資料をご覧ください。まず教育委員の皆様方におかれまして、ご参加いただきありがとうございます。参加団体の総数は62団体、参加人数は約2,500名でした。今年度は舞台発表で新吉中学校に、展示では城見小学校に、地域探究学習について発表していただきました。子ども達が自ら選んだ課題について、探究したことをこういった公の場で発表するということが、発信力ですとか表現力といったことが向上するだけでなく、市民の皆様方にも子ども達の学びを知っていただけるということで、子ども達を地域全体で育てていくという意識が高まり、新たな交流や協働のきっかけにつながればということで実施しています。今年度は新規参加団体の発掘により、飲食ブースを充実させたり、展示や体験ブースなど、会場全体を回っていただいて一日中楽しんでいただけるようなキッズスタンプラリーといった工夫を、初めて試みました。次年度へ向けた工夫としては、紙ベースとQRコードを使って来場者アンケートを実施しました。今のところ約140件ほど回答をいただいて

います。いただいたご意見・ご感想を大切に受け止め、今後の運営に生かしていきたいと考えています。

大重教育長 それでは、委員の皆様からご質問・ご意見があれば、お願いします。
教育委員 (なし)

(6) その他

(事務局・教育委員共に連絡事項なし)

大重教育長 それでは、以上で本日の定例教育委員会の方は終わりにさせていただきます。お疲れ様でした。次回の定例会については、3月19日(木)15時から教育委員会会議室でということですのでよろしくお願いします。

後藤課長 教育委員会の臨時会が3月13日の3時半から行われます。また詳しい案内はさせていただこうと思いますが、教職員の人事についての臨時会ということになります。

教育委員 その日は私は1回OKと返事したのですが、会社の事情で参加できなくなってしまったので。臨時会なんかは出席者が3名以上とかあるのですよね。成立するかしないかが。杉本委員は今のところ。

川口課長 大丈夫だと思います。

教育委員 遅い時間であったら大丈夫なのですが、どうしても会議が入っていて。

後藤課長 この後、卒業式の来賓祝辞の流れを確認させていただこうと思いますので、お時間をいただけたらと思います。

大重教育長 それでは、以上で終わります。この後よろしくお願いします。